

4 賃貸借契約(土地)

第 条 借主は、当該借地上の建物又はその一部を自ら暴力団事務所（暴力団の活動の拠点である施設又は施設の区画された部分をいう。以下同じ。）として使用し、若しくは第三者をして暴力団事務所として使用させてはならない。

2 借主は貸主に対して前項の禁止事項に違反しない旨を確約する。

第 条 貸主は、借主が次の各号の一に該当する行為をした場合に催告をすることなく本件賃貸借契約を解除し、建物の収去及び土地の明け渡しを求めることができる。

(1) 借主が、前条の確約に反して、本件借地上の建物を自ら暴力団事務所として使用し、又は第三者をして暴力団事務所として使用させたことが判明したとき。

(2) 借主が、当該借地上の建物等に暴力団であることを感知させる名称、看板、代紋等を掲示したとき。

(3) 借主が、自己又は第三者をして、当該借地上の建物に反復継続して暴力団員を出入りさせたとき。

2 借主は、貸主が前項の規定に基づき、当該契約の解除権を行使するに際し、建物及び造作等の買取請求、必要費及び有益費の償還請求、その他一切の金銭的請求をすることができない。

3 借主は、本件契約締結後に、貸主又は宅地建物取引業者が行う、本件借地上の建物の全部又は一部が暴力団事務所として使用されているか否かについての調査に協力し、これに必要と判断する資料を提供しなければならない。

別 紙

確 約 書

1 私は、本件借地上の建物を自ら暴力団事務所（暴力団の活動の拠点である施設又は施設の区分された部分をいう。）として使用し、又は第三者をして暴力団事務所として使用させないことを確約します。

2 上記確約に違反することが判明した場合には、この契約が解除されても異議を申しません。また、これにより損害が生じた場合は、一切私の責任といたします。

平成 年 月 日

氏名

印